

人権という希望

2005/6月

河野 義行さん講演

「私はこう生きる、妻と」

～松本サリン事件から10年～

☆450名参加で大成功！☆



2004年11月13日、国分寺市立いずみホールで、松本サリン事件の被害者、河野義行さんの講演に耳を傾けました。遠く、山梨、千葉、茨城の各県をはじめ、地元国分寺ほか近隣の各市から、大勢の方々が会場につめかけました。定員が370名だったため、急ぎよ第2会場を準備しましたが、やむなくお帰りいただいた方もたくさんおられました。参加者の中には、10代、20代の若い参加者が多かったことが目立ちました。

河野さんは、「私はこう生きる、妻と」と題して、事件で寝たきりとなってしまったお連れ合いや、お子さまたちとの楽しかった生活をふりかえりつつ、犯人扱いした警察やマスコミの人権侵害の様子と、それを回復していった取り組みを語りました。「1000人があなたを疑っても、1人、信じてくれる人がいれば、どんな困難も乗り越えることができる」という河野さんの言葉が胸に刻まれました。この企画は、国分寺市を含む周辺4市の人権擁護委員のネットワークと、法務局府中支局、府中市、小金井市、国立市、国分寺市の共催で行われたものです。

(K. A)

発行 国分寺地区人権擁護委員

問い合わせ：国分寺市市民生活部 男女平等人権課

〒185-0034 国分寺市光町 1-46-8 ひかりプラザ内 Tel 042-573-4378

長谷川さん(一中)が文部科学大臣賞に!

★ 第24回全国中学生人権作文コンテスト

人権作文は「中学生が人権問題について作文を書くことにより人権尊重の重要性必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けること」を目的にしています。

平成16年度は市内全中学校の参加から667編を提出いただきました。人権をいろいろな角度からみつめ人権をしっかり意識する作品が年ごとに増えているように感じます。先生方の熱心なご指導の成果と感謝しています。

☆**東京都大会**：東京都内213校から25,271編が寄せられました。

【最優秀賞】

国分寺市立第一中学校3年

長谷川 祐太さんの「鶴に込められた祖母の想い」

【作文委員会賞】

国分寺市立第三中学校2年

鈴木 玲奈さんの「私の兄」

国分寺市立第一中学校3年

伊藤 源太さんの「個性豊かな人たち」

☆**全国中学生作文コンテスト** (全国応募校数5,762校 作品数755,390編)

全国大会へは、東京都から2編がすすみ、長谷川 祐太さんの「鶴に込められた祖母の想い」は文部科学大臣奨励賞にかがやきました。

☆**全国中学生人権作文コンテスト東京都大会表彰式** (平成16年12月13日九段合同庁舎)

吉田 二三夫校長(第一中学校)が東京法務局長から感謝状を授与されました。

長谷川 祐太さんが作文を立派に朗読されました。

(M. S)

和やかに表彰式

国分寺市長賞表彰式 (平成17年1月17日市長応接室)

市長、教育長、市民生活部長、教育部長、校長、教頭、保護者、人権担当課長、他、多くの出席者に祝福を受け緊張のなか和やかにとり行われました。

【市長賞受賞者】

伊藤 源太さん(一中3年)「個性豊かな人たち」

柏木 友香里さん(一中3年)「自分自身を好きになる」

鈴木 玲奈さん(三中2年)「私の兄」

長谷川 祐太さん(一中3年)「鶴に込められた祖母の想い」

松田 ありささん(四中2年)「すれちがい」

【教育長記念品授与】

長谷川 祐太さん(一中3年)「鶴に込められた祖母の想い」

6冊目の手づくり人権作文(創刊平成11年)

受賞作品の3編のほかにもすばらしい作品がたくさんありましたので、多くの皆さまの目に触れるよう市の担当職員の協力のもと手づくり作文集を800部つくりました。

(M. S)

花を咲かそう 一人権の花を一

小さな種から、小学生のみなさんに花を育てることを通して他人を思いやる優しい心を身につけてもらうことを目的として行っています。この「人権の花運動」に国分寺市では、毎年2校の参加をいただいております。自然が相手のこと、時には芽が出なったり花が咲かないことも。また夏休み中の花の手入れに大変なご苦労があろうかと思えます。見事に美しく咲いた時の喜びはご提出くださった写真に映る明るく優しい笑顔にあふれていました。16年度は、第五小学校、第六小学校で、花も笑顔も満開の写真が「人権だより花特集号」に掲載されています。他に、詩、標語などもこの花運動中に組み入れていただければ一層の啓発に繋がれます。17年度は、第七小学校、第八小学校にお願いしました。どんなドラマが花を中心に展開されるのか期待しております。(S. E)



育つ心から 一人権メッセージ



人権イメージキャラクター
人KEN あゆみちゃん
人KEN まもる君

小学生が精いっぱい自分の言葉でしっかりとメッセージを発信します。ビデオ、本などの教材を用いて先生のご指導のもと人権について学習しています。自分のこと、クラスの出来ごと、友だちや家族のこと、街で出会ったことなど心の中で感じたことや考えたことを作文にした「子どもたちからの人権メッセージ」の発表会です。

16年度は第三小学校の六年生中島美香さんが外国人のお母さんのことをからかわれたことなど小学生らしい感性で立派に発表しました。人権についての作文は自分をつめるよい機会です。発表者は学校の代表として原則1人ですが、他の作文にも心うつ人権感覚の優れたものが何編もあります。17年度は第四小学校です。とても楽しみに準備を進めています。9月17日(土)武蔵野市民文化会館で行われます。応援に来てあげてください。(S. E)

いろいろなところで人権のはなしを！

《 一中で人権のお話 》

2004年6月第一中学校の生徒さん全員に、梓澤委員（弁護士）が、お話をさせていただきました。松本サリン事件で河野さんをたすけた永田 恒治弁護士の活動を紹介しました。人生のどん底とも言える「犯人扱い」の体験の中で、河野さんが永田弁護士との出会い、カづけられたことを話すと、みんなの目が一瞬輝きました。中学生のための職業案内、「13才のハローワーク」（村上龍著）を手にとって紹介しました。いろいろな仕事があるけれど、弁護士の仕事も関心あるなあ、と思った人もいたようです。

今年6月にも一中でお話をさせていただきました。10年前、地下鉄サリン事件で夫を失った高橋シズエさんのこと、歩く力と言葉を失った31才の女性のことを紹介し、犯罪被害者の人権についてお話をしました。高橋さんは「被害者のことをかわいそうな人々という眼で見ないでほしい。私たちは、きのうまでと違う今日を生きてゆかねばならないのだから。」と言っておられます。

まとめに述べた「この憲法が国民に保障する自由および権利は、国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」と言う憲法12条の言葉は全校生徒の心にのこったと信じています。 (K. A)

《 小学校の授業でも 》

小学校で子どもたちへの授業や道徳授業地区公開講座で保護者の方に、人権をテーマとしてお話をすることが増えています。（去年は三小、五小、八小、二小）。

日常的なことや社会の耳目を集めた出来事をとりあげ、ビデオや人権作文を用いて楽しくすすめています。

人権を考える機会になればと思っています。最近、弁護士が主人公のTVドラマも多く裁判への興味も広がっていて、さまざまな質問が出てきます。 (M. K)

お知らせ

12月3日（土）国分寺Lホールにて「人権のつどい」を開催します。

“講演会”と“人権作文発表と表彰式”を予定しています。詳細は後日市報などでお知らせします。

人権身の上相談のご案内

あなたの人権が侵害されたとき、また市民生活に関する相談など人権擁護委員が相談をお受けします。どなたでもお気軽に相談してください。秘密を守ります。相談は無料です。

予約制ですので、電話で予約をしてください。 予約電話受付 042-573-4378

〈月～金 8:30～17:00 土・日・祝日・年末年始を除く〉—男女平等人権課—

【人権身の上相談】（面接相談）

毎月 第2木曜日（一人1回30分）

（午前9時～12時まで）

担当 人権擁護委員

場所 市ひかりプラザ内女性センター相談室

〔編集後記〕

人権擁護委員の取り組みを紹介するニュースを創刊しました。

題字には、人権はどんな苦しさも乗り越える希望の力だ、という意味をこめています。

【人権擁護委員： 梓澤 和幸 遠藤 早苗 小部 正治 佐野 正子】